

根来山げんきの森倶楽部

令和6年6月作業日誌

活動日：令和6年6月16日(日) 9:30~15:00 天気：晴れ 倶楽部員：49人

今月の活動日は久しぶりに良いお天気となりましたが、すでに真夏のような暑さ。万全の熱中症対策で作業に取り組んだようです。2024年は観測史上一番の猛暑とも言われていますから、皆様も熱中症にはくれぐれも気を付けてくださいね。

うるし谷整備

女性と男性で収穫時期の梅の収穫、今年は草刈ほか環境整備が進み害虫の発生が少なくきれいな実がバケツに一杯に収穫できた。収穫後梅の木の剪定して完了。

若手により古民家解体で出た梁材の搬入をした、今後有効活用予定。

劣化する玉割の椅子・机等の劣化防止の為のペンキ塗り作業

まだ6月なのに汗が滴る、水分補給・体調管理を各自気を付け活動した。(椿 雅孝)



炭材つめ



活動日が久しぶりの晴れで、猛暑日が予想された当日。炭焼き班は9名で炭焼き窯に炭材を詰め込みました。リーダーのS氏が不在(療養中)でしたが皆で協力して昼までに詰め込みは終了しました。

昼食後の総会を挟んで午後からは5名で入口を閉鎖し作業を終了しました。

26日から焼き上げ作業を開始し、次回活動日は炭出しを確認して解散となりました。

暑い中お疲れさまでした。

(新江 光弘)

里山整備体験講座

今日は朝から曇りがちですが、暑すぎず雨の心配も無さそうで里山整備日和です。

本日の里山整備体験講座は8人の参加で、OさんとMさん、Tさんにご指導頂きました。

午前中は北斜面に植樹した木の下草刈りです。植樹した木にはピンクのリボンが付いているのでそれを目安に作業しますが、急斜面では足場が悪く目標の場所まで辿り着くのが大変でした。次回は必ず地下足袋を準備しようと思います。どの様な木を切るのか判断が難しいです。クスノキの小さな芽がたくさん出ていて、小さいうちに抜いておくよう教えて頂きました。

作業後、使用した鎌を砥石で磨き元の場所に片付けました。鎌の磨き方も教えて頂いたので、自宅でも磨こうと思います。

午後は南斜面のポルトという木を伐採しました。道路を挟んで向かい側の大きな桜の木と針葉樹の間に倒すことに決め、ロープを掛けました。Oさんがチェーンソーで切り、皆でロープを引っ張りました。桜の枝に少々被害がでましたが、見事予定通りの場所に倒すことが出来ました。やった～！ポルトを切った後は周りが明るくなりました。

次に北斜面に生えているアラカシの大きな木を2本伐採しました。

急斜面ではロープをかけるのも引っ張るのもチェーンソーも大変です。切ったアラカシはその場で120センチの長さに切り分け道路まで運び上げました。みんな息を切らして奮闘しました！

アラカシは炭焼きの材料にするそうで、とても充実した作業になりました(^)v 皆様、本当にお疲れ様でした！

お天気にも恵まれ、いろいろ体験出来て良かったです。

ご指導、ありがとうございました！ (森下 珠美)



土仏線草刈り

現場は土仏線入り口付近の、北側法面から垂れ下がっている灌木や蔓の駆除、除去作業です。最近、げんきの森に行くたびに、気になっていた所です。法面の高さは約5m強で、それが70mくらい続いています。とても危険で手間がかかる厄介な現場ですので、10名のメンバーで臨みました。

法面上部は、クズ、ヤブガラシ、ツツラフジなどの蔓性植物が、アカメガシワやノイバラに絡みに絡み付いて、大きな塊の様な茂みになっています。法面には、3名のメンバーが上がり、先ず刈り払い機でササを切り開き、約3m強の高さから、絡んでいる蔓を縦方向に切り、そして地面に近い位置で横方向に切り離して、道路下に落としていくと言う手順です。

刈り払い機を縦方向に使う事はとても危険で、体力の消費も大きく、またほぼフルスロットル状態だったので、燃料もハイ☆スピードで消費しました。

この日は、気温、湿度共に高く、更に高所作業の為、緊張と気力とハードでたっぷり過ぎる程の汗をかきました。

途中でリーダーのAさんからの水分提供は、心身ともに効きました。有難い時間でした。

道路面に落とした灌木や蔓は、大量にあり、特にノイバラのトゲは本当に厄介モノで、「痛い!痛い!」とみんな泣かされながら、軽トラックとに積み込み、何往復も処理場に運び込みました。全般を通して、作業はまさしく「棘の道」でした。(ちょっと大げさ?) ノイバラはもうコリゴリです。

でも当初は半分も出来れば上出来カナ?との予想でしたが、以外や以外多人数と作業効率の良さで、全面キレイ、サッパリ、スッキリとした法面、道路に変身しました。

メンバー皆様、大変おつかれさまでした。(林 哉也)



ゆきんコラム

今回、新人研修で草刈りをしている時に、げんきの森には”草刈り名人”がいる事が判明！！他にも沢山の”名人”がいる事が最近少しずつ分かってきました！そんな名人さんやベテランさん、皆さんの得意な事や作ったものをまだまだ発見したいです！！そして表彰式とかしたいな…(独り言)
今月の1枚は、普段あまり見る事のない角度からの活動写真です！

里山整備

午前中は根来ザクラ手前の歩道下で、冬に切り倒したカシの木を引き上げる作業を行いました。まずは歩道の柵を取り外すことから始めます。ウィンチで引き上げた際に木が引っかかり柵に負荷がかかり壊さないために。その間 A 氏は林内作業車の手配をしていてくれました。

2人が車道下に入り運び出す木にワイヤーをかけたり、運びやすいように適当なところをチェーンソーでカットしたり作業。歩道の上にいる者は林内作業車の操作と上がってきた木を炭材用に切ってそれを作業車に積む作業を行いました。

一般のお客様はあまり目にする事のない光景に時々足を止めて眺めておられたので、これらの木は炭小屋で炭を作るのだと説明を加えておくことは忘れませんでした。

午後はナナミノキを何本か切り倒す作業です。私も電気チェーンソーを持参していたので細めのナナミノキを1本を倒させてもらいました。プロに教わりながら受け口を作るわけですが、これがなかなか思うようにいかず、迷いなく一発できれいな受け口を作れるようになりたいものです。思っていた方向に倒れえくれたので一安心でしたが、それにしてもプロのお仕事はサクッと美しい仕事をするものだと感心いたしました。

作業終了、皆さん寄り集まってご親切にチェーンソーの刃の研ぎ方を指導していただき大変参考になりました。研ぎ方全然出来ていなかったことが判明したこと、研ぐための便利な道具があることを初めて知りました。さっそく Amazon でポチった私です。

道具のお手入れもきちんと丁寧に、段取り8割、安全第一をモットーに、恐れず悔らずで今後の作業も進めていきたいものです。(岩田 禎子)



先日、げんきの森の炭 300 kg を神戸の萩原珈琲に納品してきました。社長さんは自然の仕組みについての知識も深く、自然界の命のつながりのシステムを会社経営にも活かしているユニークで好感の持てる方でした。

萩原珈琲では炭でコーヒーを直火焙煎しており、こうするとコーヒー豆の内部まできちんと熱が通って粉に挽いても味にばらつきのないいい味のコーヒーが淹れられるそうです。ホットとアイス両方をご馳走になってきましたが美味しいコーヒーでした。

げんきの森事務所で今のコーヒーの在庫がなくなったら萩原珈琲から入れてみましょうか。みなさん、お楽しみに。

社長さんは9月の活動日には社員のみなさんとげんきの森に汗を流しに来てくれるそうです。

これからもいいお付き合いをしていきたいものです。 岡田 和久